



令和6年産米 情報

■宮城県

県全体の穂揃期は8月5日で、平年より4日早く、前年と同じである。地区別では、大河原地区が最も早く、次いで仙台・大崎地区、石巻地区の順に早い。

区分	出穂始期(5%)	出穂期(50%)	穂揃期(95%)
大河原	7月20日	7月26日	8月7日
仙台	7月22日	7月28日	8月4日
大崎	7月24日	7月28日	8月4日
栗原	7月26日	7月31日	8月7日
登米	7月26日	7月30日	8月5日
石巻	7月25日	7月29日	8月5日
気仙沼	7月28日	8月1日	8月7日

■佐賀県

8月5半旬は、気温はかなり高く(平年より+3.7℃)、降水量はやや少なく(平年比67%)、多照(平年比152%)で経過している。

◇平年と比べ、草丈:「さがびより」は低い、「ヒヨクモチ」は平年並み。茎数:「さがびより」は少ない、「ヒヨクモチ」は多い。葉齢:「さがびより」はやや遅れており、「ヒヨクモチ」はやや進んでいる。葉色:「さがびより」はやや淡く、「ヒヨクモチ」は濃い。

今週の玄米入荷情報

令和6年産

千葉ふさおとめ

千葉コシヒカリ

茨城コシヒカリ

■群馬県

・あさひの夢の出穂期は8月27日。(平年差-4日、前年差+1日)

・出穂期から予測される成熟期は、今後の気温が平年並で推移した場合、10月14日(平年差-5日)

今後の気温が平年差+1.0℃で推移した場合10月12日(平年差-7日、前年差+6日)

・9月、10月の気温の見通しは平年より高い見込み。

環境保全米のふるさと



みやぎ登米農業協同組合は、平成10年4月に登米市(旧登米郡)8町8JAが広域合併して発足。

管内の東を北上川が、西を迫川が北から南へと流れ込み、その豊富な水源は生活用水のみならず、稲作を中心とする農畜産業を支える農業用水として非常に重要な役割を果たし、また、北上川の東方は北上山地が縦走する山間地域となっており、迫川の西方は国内2番目のラムサール条約(※)指定登録湿地である伊豆沼および長沼があり、毎年多くの渡り鳥が訪れます。管内の中央に広がる肥沃な穀倉地帯は県内有数の『米どころ』を形成し、管内全域で環境保全米運動を展開しております。

※ラムサール条約の正式名称は「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」です。ラムサール条約は、地球規模で移動する渡鳥を保護するために、国家間で協力して水辺の自然「ウェットランド」を保全することを目的とした環境条約です。



平成18年4月に唐津市、松浦東部、佐賀松浦、上場の4JAが合併し、誕生。

管内は、佐賀県北西部に位置し、玄界灘に面し東松浦半島と糸島半島に挟まれた唐津湾に注ぐ松浦川の河口一帯を市域とし、日本三大松原の1つ「虹の松原」や唐津神社の秋季例祭「唐津くんち」などで知られる唐津市と、リアス式の美しい海岸線が玄海国定公園の一部を成している玄海町の1市1町で構成されています。



館林市と周辺の邑楽郡は日本有数の農産物の産地。キュウリをはじめ、トマト、ナスの夏野菜と白菜、春菊の冬野菜、また花も盛んな地域です。

群馬の南東、関東平野の真ん中で太陽に恵まれた日本一暑い大地と、赤城おろしの「からっ風」、また、利根川と渡瀬川にはさまれた実り豊かな肥沃な土壌が良質農産物を作っています。